



平成31年2月15日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

平成30年度 第2次補正予算に関する事業の概要について

平成30年度第2次補正予算については、重要インフラ緊急点検の結果等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」のうち、初年度の対策として速やかに着手すべきものが計上されています。富士砂防事務所においては、大規模な浸水・土砂災害による被害の防止、及び火山噴火緊急減災対策等砂防計画に関する緊急対策として、砂防堰堤・遊砂地の整備、緊急対策用資材備蓄等を推進し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

■ 火山砂防事業費

- ① 潤井川流域の各溪流において、土砂災害による被害の防止等に関する緊急対策として砂防設備の整備等の進捗を図ります。
- ② 富士山の火山噴火に起因する土砂災害対策を推進します。

■ 地すべり対策事業費

- ① 抑止工施工のための工事用道路を整備します。

1. 添付資料： 平成30年度第2次補正予算に関する富士砂防事務所の事業概要

なお、富士砂防HPにも掲載されております。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/index.html>

2. 配布先： 山梨県政記者クラブ、富士宮記者会、富士記者クラブ、静岡市政記者会

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

副所長 白 木 久 也
工務課長 堀 智 幸

TEL 0544-27-5221（代表）

FAX 0544-27-5986

平成30年度 第2次補正予算に関する 富士砂防事務所の事業概要

富士山火山砂防事業

■富士山麓における土砂災害を防ぐための砂防事業

富士山を源流とする潤井川流域の各溪流において、土砂災害による被害の防止等に関する緊急対策として砂防施設整備を推進します。

- ・大沢川遊砂地において強靱化プロジェクトを進めます。(P3①)
- ・富士山南西麓の砂防施設において遊砂地工(除石)を実施します。(P3⑤⑥)
- ・風祭川で砂防堰堤工群の整備を行います。(P3④)
- ・風祭川支川春沢で砂防堰堤工群の整備を行います。(P3③)
- ・風祭川支川鞍骨沢第1支沢で遊砂地工の整備を行います。(P3②)
- ・凡夫川支川砂沢で遊砂地工の整備を行います。(P3⑦)

■緊急減災対策の推進

富士山の火山噴火に起因する土砂災害対策を推進します。

- ・大沢川で富士山南麓緊急減災対策工(ブロック製作工)を行います。(P3⑧)
- ・富士山北麓緊急減災対策工(ブロック製作工)を行います。(P4①)
- ・富士山麓(小山町等)における火山監視強化のための検討を行います。

地 区 名	年 度	事業費 (百万円)
富士山南西麓・北麓地区 (富士山火山砂防事業)	平成30年度	2,440
	平成30年度 第2次補正予算	900

由比地すべり対策事業

■豪雨や東海地震等による大規模地すべり災害の発生を未然に 防ぐための地すべり対策事業

蜂ヶ沢ブロックの深礎杭施工のための工事用道路を整備します。

地 区 名	年 度	事業費 (百万円)
由比地区(地すべり対策事業)	平成30年度	1,760
	平成30年度 第2次補正予算	170

富士山火山砂防事業（富士山南西麓地区） 平成30年度 事業箇所

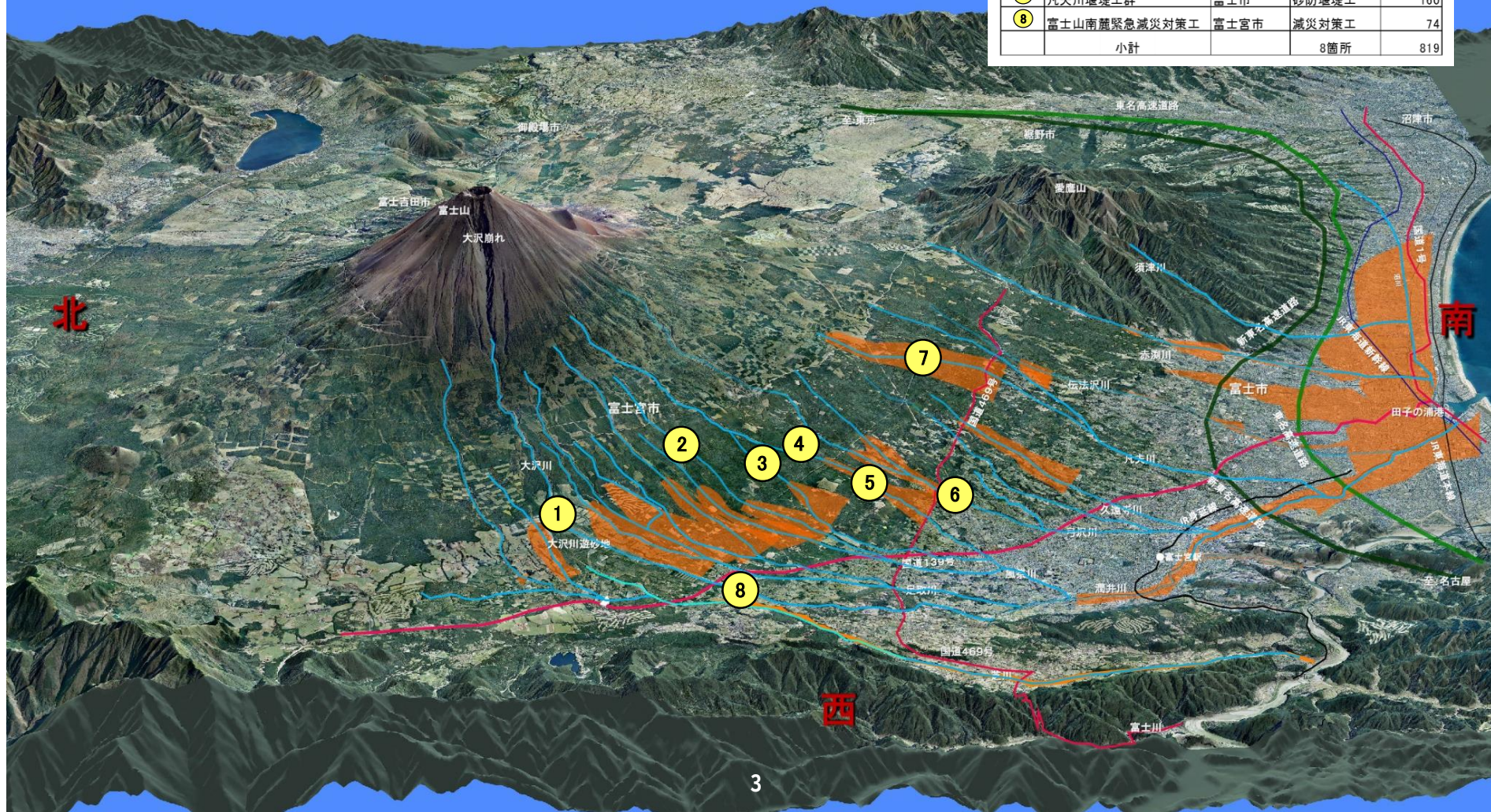
東

北

南

西

富士山南西麓地区 第2次補正予算			(単位: 百万円)	
No.	箇所名	所在地 市・町・村	工種	事業費
①	大沢川遊砂地	富士宮市	遊砂地工	169
②	鞍骨沢第1支溪遊砂地工	富士宮市	遊砂地工	63
③	春沢堰堤工群	富士宮市	砂防堰堤工	117
④	風祭上流砂防堰堤工群	富士宮市	砂防堰堤工	106
⑤	風祭沈砂地	富士宮市	沈砂地工	65
⑥	弓沢沈砂地	富士宮市	沈砂地工	65
⑦	凡夫川堰堤工群	富士市	砂防堰堤工	160
⑧	富士山南麓緊急減災対策工	富士宮市	減災対策工	74
小計			8箇所	819



富士山火山砂防事業（富士山北麓地区）南
平成30年度 事業箇所

富士山北麓地区 第2次補正予算			(単位:百万円)	
No.	箇所名	所在地市・町・村	工種	事業費
①	富士山北麓緊急減災対策工	富士河口湖町	減災対策工	81
	小計		1箇所	81

由比地区直轄地すべり対策事業
平成30年度 事業箇所



対策工事箇所 凡例

- 平成29年度まで
- 平成30年度
- 平成30年度第2次補正予算箇所
- 平成31年度以降

：集水井

：深礎杭(計画)

：深礎杭(完成)

：山中排水トンネル(施工中)

：大久保排水トンネル(完成)

地区名	年度	事業費 (百万円)
由比地区(地すべり対策事業)	平成30年度	1,760
	平成30年度 第2次補正予算	170

大沢川遊砂地強靱化プロジェクト(平成30年度第2次補正予算)

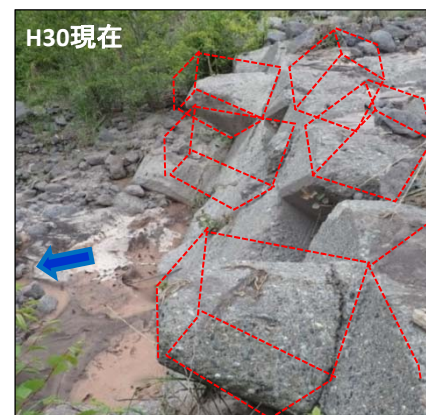
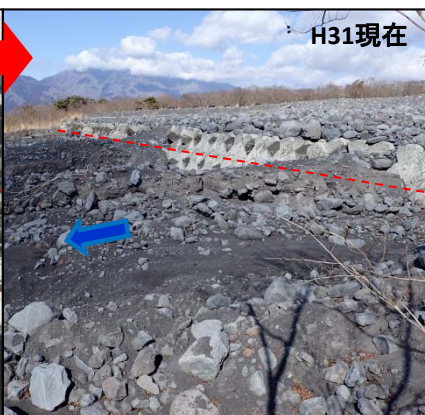
- ◆大沢川遊砂地は、多量の土砂流出が続く大沢崩れから、地域を守る重要な砂防施設である。
- ◆建設から数十年が経過し、一部は老朽化が進み、また毎年のように流出する土砂によって施設の一部が土砂で埋まっている。
- ◆そのため、堆積した土砂の撤去を行うとともに、損傷した施設の補修を行い、大沢川遊砂地の強靱化を図るものである。



①岩樋付近
護岸天端付近まで土砂が堆積



②溪岸工区間
度重なる土砂流出により護岸天端まで土砂が堆積



③第9床固工付近
流出土砂により床固工は埋まり、ブロックは一部損傷・流出している。

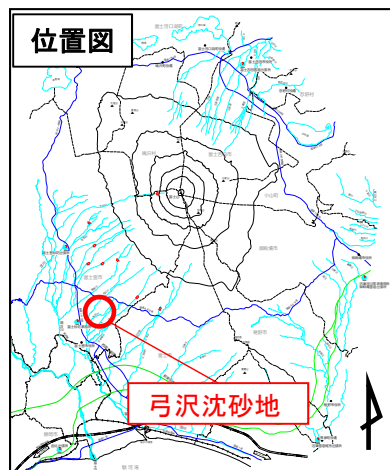
大沢川扇状地
平面図



至:富士宮市街地

近年の土砂流出に対応した施設の機能回復（弓沢沈砂地） 国土交通省

- ◆富士山南西麓の既設砂防施設では、度々流出土砂を捕捉してきた結果、施設内への土砂堆積が進行している。弓沢沈砂地では、施設容量の約半分にあたる約32,000m³の土砂が堆積し、施設容量の減少が進行している。
- ◆そのため、既設砂防施設において堆積土砂の除去を実施し、地域の安全性の向上を図る。



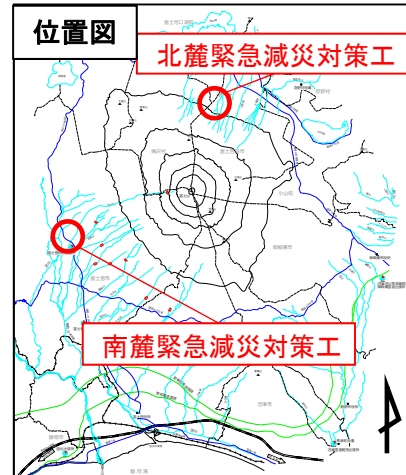
堆積状況 (弓沢沈砂地)



下流に市街地を抱える弓沢沈砂地

火山噴火に起因する土砂災害対策(緊急減災対策)

- ◆火山噴火に起因する土砂災害対策では、砂防堰堤や沈砂地等の整備を平常時から計画的に行うとともに、緊急時に備蓄ブロックを用いて堰堤を緊急整備する等の対応により、被害の軽減を図る。
- ◆緊急対策の迅速な実施のため、緊急減災対策用ブロックの備蓄を行う。



ブロック堰堤緊急施工事例
(浅間山 ブロック堰堤)



火山噴火緊急減災対策事例
(浅間山 砂原ストックヤード)



ブロック堰堤緊急施工事例
(御嶽山 ブロック堰堤)